

弥生

第 26 号
発行日 : 令和 4 年 1 1 月 2 1 日
発行 : 弥生クラブ
責任者 : 川久保 拓

福間です。新型コロナに感染しました

・・・ビックリです

7月19日、喉の痛み、発熱、咳などの症状が出て、「ともろークリニック」院外テントで鼻の粘液 PCR 検査、陽性と判定されました。まさかと思いましたが、「自宅療養」をするように言われ、自分は2階、妻は1階と住み分けました。それから3日間高熱で昼夜もはっきりしない状態でした。遅ればせながら、町内・所属の会・接触の方々へ連絡をしました。数日して「妻」に同様の症状が出て、簡易キットで検査すると陽性、「自宅療養」に。食事は自宅に保管している食品でしのぎ、23日頃に行政から食料品が宅配されてきました。



宅配された食料品の一部

療養中は療養サポートから毎朝体調・体温・パルスオキシメーター他の数値問い合わせがあり、保健所から30日まで自宅療養、31日から外出許可の連絡がありました。何とか軽症(?)で7月末には回復しました。皆さまには大変心配とご迷惑をおかけしまして恐縮しております。皆さまも感染しないようご注意ください。

桑原 正弘さんご逝去

・・・ご冥福をお祈りします

桑原 正弘さんが8月15日にご逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。桑原さんは7月に99歳の誕生日を迎え、ご子息に白寿祝いをお届けしていただきました。お元気な様子とお聞きし心強く思っておりました。突然のお話で残念な思いでいっぱいです。



奥様の鈴子さんもご高齢ですが水曜会に参加され、長寿のお手本のようなご夫婦でした。改めましてお悔やみ申し上げます。長年の伴侶を見送りご傷心の鈴子さんには得意の折紙で少しづつ日常を取戻して欲しいです。

大西さん、カラオケ大会で熱唱

9月14日に開催された泉区カラオケ大会で大西和子さんが「ひとり風の盆」を情感たっぷりに熱唱しました。大変素晴らしい歌声で会場から大きな声援がありました。惜しくも入賞は逃しましたが次が楽しみです。期待しております。



暑気払い演芸会を開催

8月7日(日)暑気払い演芸大会を自治会館で開催。佃川小あみさんの曲芸「大江戸玉すだれ」、ハート形や宝船など多彩なすだれさばきに拍手喝采でした。



極楽亭とんぼさんの落語では大爆笑し、夏の暑さを吹き飛ばしました。会場は長机で即席の高座を準備、演者との距離や椅子の間隔を空け新型コロナ対策を行いました。参加者は21名でした。

ハマロードサポーター活動

4月から22年度の駅前清掃ボランティア(ハマロードサポーター)を開始して半年、毎回20名近い会員が集合し弥生台南口前と北口広場の落葉やゴミ、雑草取りを行っています。通勤などで駅に向かう方の中には「ご苦労様」や「ありがとうございます」と声をかけてくれる方もおり励みになります。初めての方もご参加ください。



シルバー文芸作品展

会員の皆様が研鑽し、楽しんでいる俳句・短歌・川柳などを投稿していただきましたので、ご紹介します。

< 俳句 >

空澄て七草一つ散歩道 歌風

一人来て十年の秋となりけり 歌風

足踏みをしつつ見守る雪下校 珪鵬

立往生雪にあらがう北の人 珪鵬

風光る旅立つ子らの涙声 珪鵬

亡き人の十八番合唱春やかた 珪鵬

< 川柳 >

八十近き最後の足掻き声絞る 歌風

マスクしてデュエット為せば送り送り 歌風

趣味の作品展

菊地洋子さん作2



地藏人形

菊地洋子さん作1



各種お財布

雑巾140枚を医療施設に

この活動は区シ連の女性会員の方々が立ち上げ、泉区約80グループで毎年8月末に雑巾7千枚ほどが集まります。しかし事務局移転のため保管場所がなくなり、平成30年を最後に中止となりました。令和元年からは各シニアクラブ単位の活動となり、弥生クラブも「独自の福祉活動」で地域に貢献しようと毎年雑巾の作製に取り組んできました。本年は約20名の協力を得て140枚が集まりました。9月21日、町内の「ともろークリニック」へ寄贈しました。

吉井先生から「大変ありがたい、ご厚意に感謝します。これからもよろしく」とお礼の言葉をいただきました。来年も会員皆様のご協力をお願いします。



趣味の作品展

昨年5月に作品を紹介しましたがその後には作られた作品を紹介します

桑原鈴子さん作



折紙・箱と小皿とコマ

小川建也作1



飾り盆

小川建也作2

湯呑茶わんや徳利

